情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(単施設研究用)

西暦 2025 年 10 月 21 日作成 第 2.0 版

研究課題名	急性 A 型大動脈解離術後脳梗塞発生のメカニズム解析
研究の対象	2012年1月から2027年12月31日までに、当院で急性A型大動脈解離に対して緊急大動脈手術を施行した患者さん
研究の目的	急性 A 型大動脈解離に対する緊急手術後の脳梗塞発生率は 10-30%と言われています。術後に 脳梗塞が発生するメカニズムを解析することで、対策を講ずることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、急性 A 型大動脈解離の病態について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはあ りません。
研究期間	2022 年 10 月 19 日 (研究機関の長の許可日) ~ 西暦 2028 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景情報:年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症 ・手術情報:術式、出血量、輸血量、手術時間、人工心肺時間、選択的順向性脳灌流時間、最低直腸温 ・術前後の CT 検査、MRI 検査 ・血液検査の結果:血液学的検査、生化学的検査、凝固機能検査(白血球数、ヘモグロビン、血小板数、PT、FDP等) ・転帰
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管理	検体・情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号(識別コード)で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表(以下、対応表)を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありません(ので、当院外の機関が個人を特定することはできません)。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長でありますが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者:横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科 長 知樹
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科の基礎研究費を用

情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(単施設研究用)

	いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。
研究組織 (利用する者 の範囲)	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター外科 (研究責任者)長 知樹

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画 書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方に ご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その 場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただい た段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター外科

(研究責任者/問い合わせ担当者) 長 知樹

電話番号:045-261-5656(代表) FAX:045-261-9162